

平成30年度夏休み子ども見学会実施要領

受入日 7月30日(月), 31日(火), 8月2日(木), 3日(金)

受入時間 午前の部(午前10時から午前11時45分まで)

午後の部(午後2時から午後3時45分まで)

4日間各2回ずつ(計8回)

受入人数 1回につき200人(合計1600人)

受入対象 保護者に付き添われた小学生または中学生

見学場所 大法廷, 大ホール, 講堂, 正面玄関付近

実施内容 小学1年生ないし4年生を低学年, 小学5年生から中学3年生を高学年とし, それぞれに見合った難易度で次の企画を実施する。なお, 7月30日, 31日は高学年を対象とし, 8月2日, 3日は低学年を対象とする。ただし対象外の学年であっても受け入れは行う予定である。

①最高裁判所の建物の特徴をメインとした説明(大法廷)

②質問コーナー(大法廷)

③判決文サンプルを用いた判決言渡体験(大法廷)

④法服を着用しての記念撮影(大法廷)

⑤模擬裁判体験(講堂)

⑥各国の法服展示, 大ホールの案内等(大ホール)

⑦正面玄関付近での記念撮影(正面玄関)

「平成30年度夏休み子ども見学会」プログラム (高学年用)

時間 (午前・午後)		内 容	所要時間	場 所
9:40～	13:40～	入構・受付	15分	南 門
9:55～	13:55～	配布資料説明等	5分	大法廷
10:00～	14:00～	始めの挨拶, 大法廷説明	10分	大法廷
10:10～	14:10～	自由見学時間のご案内, 移動	5分	大法廷
10:15～	14:15～	自由見学時間	70分	
		記念撮影(法壇で法服着用), 判決言渡体験		大法廷
		模擬裁判体験		講堂
		世界の法服展示・クイズ大会		大ホール
11:25～	15:25～	質問コーナー	15分	大法廷
11:40～	15:40～	終わりの挨拶	5分	大法廷
11:45～	15:45～	退構	合計105分	正面玄関 正門

「平成30年度夏休み子ども見学会」プログラム (低学年用)

時 間 (午前・午後)		内 容	所要時間	場 所
9:40～	13:40～	入構・受付	15分	南 門
9:55～	13:55～	配布資料説明等	5分	大法廷
10:00～	14:00～	始めの挨拶, 大法廷説明	5分	大法廷
10:05～	14:05～	自由見学時間のご案内, 移動	5分	大法廷
10:10～	14:10～	自由見学時間	70分	
		記念撮影(法壇で法服着用), 判決言渡体験		大法廷
		模擬裁判体験		講堂
		世界の法服展示・クイズ大会・ぬりえコーナー		大ホール
11:20～	15:20～	質問コーナー	20分	大法廷
11:40～	15:40～	終わりの挨拶	5分	大法廷
11:45～	15:45～	退構	合計105分	正面玄関 正門

高学年 ^{もぎさいばん} 模擬裁判シナリオ（係員用）

※ 第1回（10：20～，14：20～）

第2回（10：40～，14：40～）

第3回（11：00～，15：00～）

予定時間各回15分（時間厳守！）

メ：模擬裁判メイン担当→司会進行

サ：模擬裁判サブ担当→誘導や子どもの補助，証人役

秘：秘書課ヘルプ→被告人役，子どもの補助

【模擬裁判開廷前】

メ→**（スライド1）**を表示

サ→講堂への案内を開始する旨の無線が入ったら，講堂前で待機し，見学者が現れ始めたら，「**模擬裁判に参加したい小学生または中学生のお子さんはステージ上に上がってくじを引いてください。それ以外の保護者及びお子さんは座席にお座りください。**」と誘導し，ステージに上がる。

サ→くじを引かせて子どもを座らせる。くじがなくなったら，裁判官の席に座らせる。

秘→被告人席で待機。席がわからない子どもがいたら，席へ誘導する。

メ→**「模擬裁判に参加したい小学生または中学生のお子さんはステージ上に上がってくじを引いてください。それ以外の保護者及びお子さんは座席にお座りください。」**

メ→**（時間になったら）「時間になりましたので参加希望者を締め切ります。」**

サ→（くじが余ったら）**「●名足りませんので，保護者の方で参加していただける方はステージまでお越しください。」**

※ J 9人，P 6人，B 5人の設定。参加者数については21人が最も適切な数。

【着席後】

メ→「(スライド2) それでは模擬裁判を始めます。これから行われる模擬裁判は「刑事裁判」です。ある事件が起こりました。ここにいる被告人(被告人は立って手を挙げる)が、お金を盗む目的で、千代田隼の家に忍び込み、現金を盗んだと疑われています。被告人は有罪か無罪か、有罪ならば、どんな罰をあたえるのかを決める裁判です。

それぞれの役をご紹介します。(スライド3) ステージ真ん中の裁判官役には、裁判を進行して、検察官と弁護人の意見を聞き、判決を言ってもらいます。

ステージ右側の検察官役には、証拠などによって犯罪事実を証明し、「被告人にはどれくらいの重さの罰がふさわしい」のかを言ってもらいます。

そして、ステージ左側の被告人役には、「被告人は犯人ではない」とか「こういう事情があるので軽い罰を与えるべきだ」という被告人の立場で言い分を述べてもらいます。」

(参加者が2人以上の場合)

裁判官10から●までの人には、判決前に、有罪か無罪かとか、被告人の印象など、今日の模擬裁判についての問題を出しますので、それに答えてもらいます。そんなに難しい問題は出しますので、安心してください。

メ→「(スライド4) 刑事裁判は、冒頭手続から始まり、(左クリックで動く)証拠調べを行い、(左クリックで動く)弁論手続を経て、(左クリックで動く)最後に判決宣告(左クリックで動く)の順番に進んでいきます。今日もこの順番で模擬裁判をやっていきたいと思います。

(スライド5) 最初は冒頭手続です。まず、被告人に人違いがないか確かめます。そして、起訴された事実についての意見を確認します。

席についている皆さんは、机の上にあるファイルをとって、①をめくってください。自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番になったら、立って、「大きな声で」「はっきりと」読み上げてください。途中、どこを読んでいるのかわからなくなったら、手をあげてください。それではどうぞ。

【以下第1シナリオ】

さいばんかん かいいてい
裁判官1 開廷します。

ひこくにん しょうげんだい ところ た
被告人は、証言台の所に立ってください。

なまえ なん
名前は、何とといいますか。

ひこくにん せきかすみ
被告人 関霞です。

さいばんかん せいねんがっぴ
裁判官2 生年月日はいつですか。

ひこくにん へいせい ねん がつみつか
被告人 平成3年5月3日です。

さいばんかん しごと なに
裁判官3 仕事は何をしていますか。

ひこくにん むしよく
被告人 無職です。

さいばんかん けんさつかん きそじょう よ
裁判官4 検察官は起訴状を読んでください。

けんさつかん こうそじじつ
検察官1 公訴事実。

ひこくにん へいせい ねん がつ にちごご じ
被告人は、平成30年5月16日午後3時ころ、

かね ぬす もくてき ちよだくはやぶさちよう ばん ごう
お金を盗む目的で、千代田区 隼 町 4 番 2 号

ちよだしゅん いえ みなみがわ まど
にある千代田 隼 の家のリビング 南 側の窓ガラ

わ かぎ あ いえ しんにゆう いえ
スを割って鍵を開けてその家に 侵 入 し，その家

ちよだ しょゆう げんきん まんえん ぬす
で，千代田が 所有する現金 10 万円を盗んだも
のである。

けんさつかん ざいめいおよ ばつじょう
検察官 2 罪名及び罰 条。

じゅうきょしんにゆう けいほうだい じょうぜんだん せつとう
住居 侵入，刑法第 130 条 前段，窃盗，

けいほうだい じょう いじょう
刑法第 235 条。以上です。

さいばんかん しんり はじ まえ ひこくにん ちゅうい
裁判官 5 審理を始める前に，被告人に注 意をしておきま
す。

ひこくにん もくひけん い
被告人には，黙秘権といって，言いたくないことは

い けんり
言わなくてもいいという権利があります。

さいばんかん こた しつもん こた かま
裁判官 6 答えたくない質 問には，答えなくても構いませ
ん。

しつもん いま けんさつかん よ じじつ
それでは質 問します。今，検 察 官が読んだ事実に

について、^{まちが}間違っているところがありますか。

^{ひこくにん}被告人 ^{まちが}間違いありません。

^{さいばんかん}裁判官 7 ^{べんごにん}弁護人のご意見は、いかがですか。

^{べんごにん}弁護人 1 ^{ひこくにん}被告人と同じで、^{おな}事実^{じじつ}に^{あらそ}争いはありません。

^{さいばんかん}裁判官 8 ^{ひこくにん}被告人は、^{もと}元の^{せき}席^{すわ}に座ってください。

サ→証人席で待機

メ→「はい、ありがとうございました。被告人は起訴された事実を認めていましたね。冒頭
手続が終わりましたので、次は証拠調べと弁論手続きです。(スライド6)証拠調べ
は、証拠を確認したり、証人や被告人の話を聞いたりする手続きで、弁論手続は、
証拠調べを基に、被告人は有罪か無罪か、有罪ならば、どのような刑を科すべきか
について、検察官や弁護人が意見を言う手続きです。

では、席についているみなさんは机の上のファイルをもって②をめくってください。
自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番になったら、立って、大きな声で
はっきりと読み上げてください。」

【以下第2シナリオ】

さいばんかん 9 しょうこしら おこな けんさつかん ぼうとう ちんじゅつ
裁判官 9 証拠調べを行います。検察官，冒頭陳述
をしてください。

けんさつかん 3 けんさつかん しょうこ しょうめい じじつ
検察官 3 検察官が証拠によって証明しようとする事実
つぎ
は次のとおりです。

ひこくにん ぬす はい いえ さが
被告人は，盗みに入りやすそうな家を探してい
ました。

けんさつかん 4 ひが いしや いえ はっけん ようい かな
検察官 4 すると，被害者の家を発見し，用意していた金づ
ちでリビング みなみがわ まど わ しんにゅう
南側の窓ガラスを割って侵入し，
な なか げんきん まんえん ぬす
タンスの中から現金10万円を盗みました。

さいばんかん 1 けんさつかん しょうこ せいきゅう
裁判官 1 検察官は，証拠の請求をしてください。

けんさつかん 5 しょうこ かな せいきゅう ちよだ
検察官 5 証拠として金づちを請求します。また，千代田
しゅん しょうにんじんもん せいきゅう
隼の証人尋問を請求します。

さいばんかん 2 けんさつかん しょうこ せいきゅう べんごにん
裁判官 2 検察官の証拠の請求についての弁護人の

いけん の
意見を述べてください。

べんごにん しょうこ とりしら いぎ
弁護人 2 証拠の取調べに異議ありません。

さいばんかん しょうこ さいよう
裁判官 3 それでは、いずれも証拠として採用します。まず、

けんさつかん かな しめ
検察官は金づちを示してください。

けんさつかん
検察官 6 (金づちを持ち上げる)

さいばんかん つぎ しょうにんじんもん おこな
裁判官 4 次に証人尋問を行います。

しょうにん しょうげんだい ところ た
証人は、証言台の所に立ってください。

なまえ なん い
名前は何と言いますか。

しょうにん ちよだしゅん
証人 千代田 隼 です。

さいばんかん せんせいしょ て も こえ だ よ
裁判官 5 それでは、宣誓書を手にとって、声に出して読んでください。

しょうにん りょうしん したが しんじつ の なにごと かく
証人 良心に従って、真実を述べ、何事も隠さず

いつわ の ちか
偽りを述べないことを誓います。

さいばんかん 裁判官 6 ^{せんせい} 宣誓したとおり、^{しょうじき はな} 正直に話してください。^{うそ} 嘘を

^{ぎしょうざい} つくと偽証罪で^{しょばつ} 処罰されることがあります。そ

^{けんさつかん} れでは検察官、^{しつもん} 質問を始めて下さい。^{はじ} ^{くだ}

^{けんさつかん} 検察官 1 ^{ひこくにん} あなたは被告人を知っていますか。^し

^{しょうにん} 証人 ^し はい、知っています。^{へいせい} 平成30年^{ねん} 5月^{がつ} 16日^{にち}の

^{ごご} 午後3時^じころに^{いえ} 家に^{かえ} 帰ると、^{まど} 窓から^{ひこくにん} 被告人が^で 出て

^{つか} きたので、捕まえて、^{けいさつ} 警察に^{つうほう} 通報しました。

^{けんさつかん} 検察官 2 ^{ひこくにん} 被告人が^{いえ} 家の中を^{なか} ^{あらし} 荒らしたので^{した} ですね？

^{べんごにん} 弁護人 3 ^{いぎ} 異議あり。^{ゆうどうじんもん} 誘導尋問です。

^{さいばんかん} 裁判官 7 ^{いぎ} 異議を認めます。^{けんさつかん} 検察官は^{しつもん} 質問を^か 変えてください。

^{けんさつかん} 検察官 3 ^{いえ} ^{ようす} 家の様子はどうでしたか。

^{しょうにん} 証人 ^ひ ^だ 引き出しや^あ タンスが^{なか} 開けられていて、^{はい} 中に入って

^{しよるい} ^{いふく} ^{ゆか} ^ち いた書類や衣服が床に散らばっていました。

けんさつかん いえ
検察官 4 家からなくなったものがありましたか。

しょうにん なか い まんえん
証人 はい。タンスの中に入れていた10万円がありました
せんでした。

けんさつかん しつもん いじょう
検察官 4 検 察 官 の 質 問 は 以 上 です。

さいばんかん べんごにん しつもん はじ くだ
裁判官 8 弁 護 人 , 質 問 を 始 め て 下 さ い。

べんごにん ぬす まんえん
弁 護 人 4 盗 ま れ た 1 0 万 円 は どう な り ま し た か。

しょうにん ひこくにん つか あと かえ
証人 被 告 人 を 捕 ま え た 後 に す ぐ 返 し て も ら い ま し た。

べんごにん ひこくにん わ まど
弁 護 人 5 被 告 人 が 割 っ た 窓 ガ ラ ス は どう な り ま し た か。

しょうにん ひこくにん べんしょう しゅうり
証人 被 告 人 か ら 弁 償 し て も ら っ て 修 理 し ま し た。

べんごにん べんごにん しつもん いじょう
弁 護 人 5 弁 護 人 の 質 問 は 以 上 です。

さいばんかん じんもん お しょうにん せき もど
裁判官 9 尋 問 は 終 わ り ま し た。 証 人 は 席 に 戻 っ て く だ
さ い。

さいばんかん つづ ひこくにん しつもん おこな ひこくにん
裁判官 1 続 い て , 被 告 人 質 問 を 行 い ま す。 被 告 人 は ,

しょうげんだい ところ た べんごにん しつもん
証 言 台 の 所 に 立 っ て く だ さ い。 弁 護 人 , 質 問

をどうぞ。

弁護人 1 どうして今 回 の事件を起こしたのですか。

被告人 お金 がなくて、3 日間 何 も 食 べ て い な っ た の で、

盗 ん だ お 金 で 食 べ 物 を 買 お う と 思 い ま し た。

弁護人 2 盗 ん だ お 金 は どう し ま し た か。

被告人 す ぐ に 被 害 者 に 返 し ま し た。

弁護人 3 わ 割 っ た 窓 ガ ラ ス の 弁 償 を し ま し た か。

被告人 はい、友 だ ち か ら お 金 を 借 り て 弁 償 し ま し た。

弁護人 4 い ま 今 ま で に 他 に 犯 罪 を し た こ と が あ り ま す か。

被告人 あ り ま せ ん。

弁護人 4 弁 護 人 の 質 問 は 以 上 で す。

裁判官 2 検 察 官、質 問 を ど う ぞ。

検 察 官 5 (金 づ ち を 手 に 持 っ て) こ の 金 づ ち は 事 前 に 準 備
し て い た も の で す か。

ひこくにん
被告人 はい、そうです。

けんさつかん
検察官 5 けんさつかん しつもん いじょう
検 察 官 の 質 問 は 以 上 で す。

さいばんかん
裁判官 3 しつもん お ひこくにん せき もど
質 問 を 終 わ り ま す の で 、 被 告 人 は 席 に 戻 っ て く
だ さい。

さいばんかん
裁判官 4 いじょう しょうこしら お けんさつかん いけん
以 上 で 、 証 拠 調 べ は 終 わ り で す 。 検 察 官 は 意 見
の
を 述 べ て く だ さい。

けんさつかん
検察官 6 ろんこく ひこくにん はんこう どうき ぬす
論 告 を し ま す 。 被 告 人 の 犯 行 の 動 機 は 、 盗 ん だ
かね た もの か みがつて
お 金 で 食 べ 物 を 買 お う と す る 身 勝 手 な も の で す 。

けんさつかん
検察官 1 ひこくにん ぬす じぜん かな ようい
被 告 人 は 、 盗 み を す る た め に 事 前 に 金 づ ち を 用 意
し て お り 、 計 画 的 な 犯 行 で す 。

けんさつかん
検察官 2 ぬす きんがく まんえん ひがい すく
盗 ん だ 金 額 は 1 0 万 円 で 、 被 害 も 少 な く あ り ま
せ ん 。

けんさつかん
検察官 3 ひこくにん かね こま おな はんざい
被 告 人 は 、 お 金 に 困 れ ば 、 ま た 同 じ よ う な 犯 罪 を
かのうせい
す る 可 能 性 が あ り ま す 。

検察官 4 ^{けんさつかん} ^{ひこくにん きび} ^{しょばつ}
したがって、被告人を厳しく処罰すべきです。

検察官 5 ^{けんさつかん} ^{きゅうけい} ^{ひこくにん} ^{ちょうえき} ^{ねん} ^{かな} ^{いっぽん}
求刑。被告人を懲役1年とし、金づち1本
^{ぼっしゅう} ^{そうとう}
を没収するのが相当です。

裁判官 5 ^{さいばんかん} ^{べんごにん} ^{いけん} ^の
それでは弁護人、意見を述べてください。

弁護人 5 ^{べんごにん} ^{べんろん} ^{ひこくにん} ^{ほか} ^{はんざい}
弁論をします。被告人はこれまで他に犯罪をし
たことはありません。

弁護人 5 ^{べんごにん} ^{つみ} ^{みと} ^{はんせい}
罪を認めて反省しています。

弁護人 1 ^{べんごにん} ^{ひがいしゃ} ^{ぬす} ^{かね} ^{かえ}
被害者に盗んだお金を返しています。

弁護人 2 ^{べんごにん} ^わ ^{まど} ^{べんしょう}
割った窓ガラスの弁償もしています。

弁護人 3 ^{べんごにん} ^{しっこうゆうよ} ^つ ^{はんけつ} ^{そうとう}
したがって、執行猶予の付いた判決が相当であ
^{かんが}
ると考えます。

裁判官 6 ^{さいばんかん} ^{ひこくにん} ^{しょうげんだい} ^{ところ} ^た
被告人は、証言台の所に立ってください。

^{さいご} ^い
最後に言いたいことはありますか。

被告人 ^{ほんとう} ^{はんせい} 本 当 に 反 省 しています。 ^{にど} 二 度 と こ の よ う な こ と は
しません。

裁判官 7 ^{はんけつ} ^{じかい} ^い ^{わた} ^{へいてい} それでは 判 決 は 次 回 , 言 い 渡 し ます。 閉 廷 し ます。

メ→「はい、ありがとうございました。ここまで証拠を調べて、どんなことが起こったのか、
分かってきました。この後、判決ですが、その前に、それぞれの事情をおさらいしてみま
しょう。(スライド7)検察官は、

- ・犯行の動機は、盗んだお金で食べ物を買おうとする身勝手なもの(左クリックで動く)
- ・事前に金づちを用意しており、計画的な犯行。(左クリックで動く)
- ・盗んだ金額は10万円で、被害も少なくない。(左クリックで動く)
- ・お金に困れば、また同じような犯罪をする可能性がある。(左クリックで動く)
- ・なので、懲役1年、金づちを没収するのが相当だ、と言っています。(左クリックで動く)」

「一方、弁護士は、

- ・被告人に前科はない。(左クリックで動く)
- ・罪を認めて反省している。(左クリックで動く)
- ・被害者に盗んだお金を返しています。(左クリックで動く)
- ・割った窓ガラスの弁償済み。(左クリックで動く)
- ・だから、執行猶予の付いた判決が相当だ、と言っています。(左クリックで動く)」

「では、ここでちょっと意見を聞いてみたいと思います。」

(参加者が22人以下の場合)

メ→「皆さんに被告人は有罪か無罪かお聞きします。被告人が有罪だと思う人は手を挙げてください。」

「被告人が無罪だと思う人は手を挙げてください。」

「はい、ありがとうございます。ほとんどの人が有罪に手をあげましたね。」

(参加者が22人以上の場合)

メ→「では、裁判官●の人、被告人が有罪になりそうな事情はどれだとおもいますか?」「裁判官●の人はどう思いますか?」

「裁判官●の人、被告人はもう2度と犯罪を起こさないと思いますか? そう思う理由は?」

「裁判官●の人、被告人はやっぱり、有罪、無罪どちらだと思いますか? そう思う理由はなんですか?」

「裁判官●の人、懲役1年と金づちの没収は厳しいと思いますか?」

「はい、ありがとうございます。」

※ 人数に合わせて質問をカットしたり加えたりする。

メ→「それでは、いよいよ判決です。(スライド8)どのような結論になるのか注目しましょう。席についているみなさんは机の上のファイルをもって③をめくってください。自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番になったら、立って、大きな声ではっきりと読み上げてください。」サ→まもなく模擬裁が終わる旨を無線で連絡する。

【以下第3シナリオ】

さいばんかん 8 かいてい はんけつ い わた
裁判官 8 開廷します。判決を言い渡します。

しゅぶん
主文

ひこくにん ちょうえき ねん しょ
被告人を懲役1年に処する。

さいばん かくてい ひ ねんかん けい
裁判官 9 この裁判が確定した日から3年間その刑の
しっこう ゆうよ
執行を猶予する。

けんさつちょう ほかんちゅう かな いっぱん ぼっしゅう
検察庁で保管中の金づち1本を没収する。

りゆう
裁判官 1 理由

ひこくにん じぜん かな ようい けいかくてき
被告人は、事前に金づちを用意して計画的に10

まんえん ぬす こんかい はんこう あくしつ
万円を盗んでおり、今回の犯行は悪質である。

ぬす まんえん ひがいしゃ かせ
裁判官 2 しかし、盗んだ10万円が被害者に返されてい

ひこくにん ゆうり じじょう
ることなど、被告人にとって有利な事情もあるの

こんかい けい しっこう ゆうよ
で、今回は刑の執行を猶予することにする。

裁判官3 これではい閉廷します。

メ→「懲役1年執行猶予3年の判決でしたね。(スライド9)懲役とは、刑務所に入って作業を行わせる刑罰ですが、今回は3年間の執行猶予が付されたので、3年間再び罪を犯すことなく、無事に過ごしたときは、刑務所に入る必要がなくなります。また、被告人の物だった金づちは、犯行に使われたので取り上げられてしまいました。

実際の判決官渡しでは、もっと細かく理由が説明されますが、この模擬裁判では省略します。

以上で模擬裁判を終わります。裁判官役、検察官役、弁護人役のみなさん、ありがとうございました。おつかれさまでした。【拍手】(スライド10)

「くじは机の上に置いていてください。」

「机の上にある認定証書を一人一枚取って出口へ向かってください」

サ→模擬裁が終わった旨を無線で連絡する。

低学年 模擬裁判シナリオ（係員用）

※ 第1回（10：20～，14：20～）

第2回（10：40～，14：40～）

第3回（11：00～，15：00～）

予定時間各回15分（時間厳守！）

メ：模擬裁判メイン担当→司会進行

サ：模擬裁判サブ担当→誘導や子どもの補助，証人役

秘：秘書課ヘルプ→被告人役，子どもの補助

【模擬裁判開廷前】

メ→**（スライド1）**を表示

サ→講堂への案内を開始する旨の無線が入ったら，講堂前で待機し，見学者が現れ始めたら，「**模擬裁判に参加したい小学生または中学生のお子さんはステージ上に上がってくじを引いてください。それ以外の保護者及びお子さんは座席にお座りください。**」と誘導し，ステージに上がる。

サ→くじを引かせて子どもを座らせる。くじがなくなったら，裁判官の席に座らせる。

秘→被告人席で待機。席がわからない子どもがいたら，席へ誘導する。

メ→**「模擬裁判に参加したい小学生または中学生のお子さんはステージ上に上がってくじを引いてください。それ以外の保護者及びお子さんは座席にお座りください。」**

メ→**（時間になったら）「時間になりましたので参加希望者を締め切ります。」**

サ→（くじが余ったら）**「●名足りませんので，保護者の方で参加していただける方はステージまでお越しください。」**

※ J 15人，P 5人，B 5人の設定。参加者数については25人が最も適切な

数。

【着席後】

メ→「(スライド2)それでは模擬裁判を始めます。これから行われる模擬裁判は「刑事裁判」です。ある事件が起こりました。ここにいる被告人(被告人は立って手を挙げる)が、コンビニでお茶とお弁当を盗んだようなので、被告人は有罪か無罪かなどを決めたいと思います。

それぞれの役をご紹介します。(スライド3)ステージ真ん中の裁判官役には、検察官と弁護人の意見を聞き、最後に結果(判決)を言ってもらいます。

ステージ右側の検察官役には、被告人の犯罪を証明し、「被告人にはどれくらいの重さの罰がふさわしい」のかを言ってもらいます。

そして、ステージ左側の弁護人役には、「被告人は犯人ではない」とか「こういう事情があるので軽い罰を与えるべきだ」という被告人の立場で言い分を述べてもらいます。」

(参加者が22人以上の場合)

裁判官16から●までの人には、結果を言う(判決)前に、有罪か無罪かとか、今日の模擬裁判についての問題を出しますので、それに答えてもらいます。「はい」か「いいえ」で答えられる問題で難しいないので、安心してください。

メ→「(スライド4)それでは、最初は①被告人が誰かを確かめたい、どんな罪で訴えられたのかを確かめます。

席についている皆さんは、机の上にあるファイルをとって、①をめくってください。自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番になったら、立って、「大きな声で」「はっきりと」読み上げてください。途中、どこを読んでいるのかわからなくなったら、手をあげてください。それではどうぞ。

【第1シナリオ】

さいばんかん 1 ^{かいてい}開廷します。^{ひこくにん}被告人は、^{しょうげんだい}証言台の^{ところ}所に^た立って
ください。

^{なまえ}名前は、^{なん}何とといいますか。

^{ひこくにん}被告人 ^{せきかすみ}関霞です。

さいばんかん 2 ^{せいねんがっぴ}生年月日はいつですか。

^{ひこくにん}被告人 ^{へいせい}平成^{ねん}7年^{がつ}5月^か3日です

さいばんかん 3 ^{じゅうしょ}住所はどこですか。

^{ひこくにん}被告人 ^{とうきょうとちよだくかすみがせき}東京都千代田区霞ヶ関^{ごうしつ}1の1の401号室で
す。

さいばんかん 4 ^{ほんせきち}本籍地はどこですか。

^{ひこくにん}被告人 ^{おぼ}覚えていません。

さいばんかん 5 ^{しよくぎょう}職業は何ですか。^{なん}

^{ひこくにん}
被告人

^{むしよく}
無職です。

^{さいばんかん}
裁判官 6

^{けんさつかん} ^{きそじょう}
検 察 官 は起訴状を読んでください。

^{けんさつかん}
検察官 1

^{こうそじじつ}
公訴事実。

^{けんさつかん}
検察官 2

^{ひこくにん} ^{へいせい} ^{ねん} ^{がつ} ^{にち} ^ご ^ご ^じ
被告人は、平成30年5月16日午後7時55

^{ぶん} ^{ちよだくはやぶさちょう} ^{ばん} ^{ごう}
分ころ，千代田区 隼 町 4 番 2 号にあるコン

^{ながた} ^{えん} ^{べんとう} ^こ ^{えん}
ビニ永田で，900円のお弁当1個と100円のお

^{ちや} ^{ぼん} ^{ぬす}
茶1本を盗みとったものである。

^{けんさつかん}
検察官 3

^{ざいめいおよ} ^{ばつじょう} ^{せつとう} ^{けいほうだい} ^{じょう}
罪名及び罰条，窃盗，刑法第235条，

^{いじょう}
以上です。

^{さいばんかん}
裁判官 7

^{さいばん} ^{はじ} ^{まえ} ^{ひこくにん} ^{ちゅうい}
裁判を始める前に，被告人に注意をしておきま
す。

^{さいばんかん}
裁判官 8

^{ひこくにん} ^{もくひけん} ^い
被告人には，黙秘権といって，言いたくないこと

^い ^{けんり}
は言わなくてもいいという権利があります。

さいばんかん 裁判官 9 こた 答えたくない質問には、こた 答えなくてもいいです。

さいばんかん 裁判官 10 しつもん こた 質問に答えたときには、そのはつげん しょうこ 発言が証拠になる

こともありますから、よくかんが えてこた 答えるようにしてください。

さいばんかん 裁判官 11 いまよ じじつ まちが 今読まれた事実について、間違っているところはありますか。

ひこくにん 被告人 まちが 間違いありません。

さいばんかん 裁判官 12 べんごにん いけん 弁護人のご意見は、いかがですか。

べんごにん 弁護人 1 じじつ まちが 事実には間違いはありません。

さいばんかん 裁判官 13 ひこくにん もと せき すわ 被告人は、元の席に座ってください。

サ→証人席で待機

メ→「はい、ありがとうございました。被告人は万引きしたことを認めていましたね。次は②証拠を確かめたり、目撃者から話を聴いたりして、そのあと、被告人の罰について検察官や弁護人の言い分を聞きます。(スライド5)

今回の模擬裁判では、検察官が、万引きの目撃者である、コンビニ永田の店長から話を聞くとところから始めたいと思います。席についているみなさんは机の上のファイルをもって②をめぐってください。自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番に

なったら、立って、大きな声ではっきりと読み上げてください。」

【^{だい}第2 シナリオ】

^{さいばんかん}裁判官14 ^{しょうにんじんもん おこな} 証人尋問を行います。^{しょうにん} 証人は、^{しょうげんだい} 証言台の

^{ところ た} 所に立ってください。

^{さいばんかん}裁判官15 ^{なまえ なん い} 名前は何と言いますか。

^{しょうにん} 証人 ^{ちよだしゅん} 千代田 隼 です。

^{さいばんかん}裁判官1 ^{せんせいしょ て も} それでは、宣誓書を手に持って、^{こえ だ} 声に出して読ん
^よ でください。

^{しょうにん} 証人 ^{りょうしん したが} 良心に従って、^{しんじつ の} 真実を述べ、^{なにごと かく} 何事も隠さず
^{いつわ の} 偽りを述べないことを^{ちか} 誓います。

^{さいばんかん}裁判官2 ^{せんせい} 宣誓したとおり、^{しょうじき はな} 正直に話してください。^{うそ} 嘘を

^{ぎしょうざい} つくと偽証罪で処罰されることがあります。^{しょばつ}

^{さいばんかん}裁判官3 ^{けんさつかん} それでは検察官、^{しつもん はじ} 質問を始めて^{くだ} 下さい。

けんさつかん ひこくにん し
検察官 4 あなたは被告人を知っていますか。

しょうにん し へいせい ねん がつ にちごご
証人 はい、知っています。平成30年5月16日午後

じ ふん わたし てんちょう
7時55分ころ、私が店長をしているコンビニ

ながた ひこくにん はい
永田に、被告人が入ってきました。

けんさつかん ひこくにん なगत べんとう ちゃ ぬす
検察官 5 被告人がコンビニ永田でお弁当とお茶を盗んだので
すね？

べんごにん いぎ ゆうどうじんもん
弁護人 2 異議あり。誘導尋問です。

さいばん 官 いぎ みと けんさつかん しつもん か
4 異議を認めます。検察官は質問を変えてください。

けんさつかん ひこくにん なगत なに
検察官 1 被告人はコンビニ永田で何をしましたか。

しょうにん まわ べんとう ちゃ
証人 回りをきよろきよろしながら、お弁当とお茶をバッ

なか い かね はら なगत で
クの中に入れ、お金を払わずにコンビニ永田を出て
いきました。

けんさつかん けんさつかん しつもん いじょう
検察官 1 検察官の質問は以上です。

さいばんかん 裁判官 5 べんごにん しつもん はじ くだ
弁護人，質問を始めて下さい。

べんごにん 弁護人 3 ぬす べんとう ちゃ
盗まれたお弁当とお茶はどうになりましたか。

しょうにん 証人 ひこくにん つか あと かえ ひこくにん
被告人を捕まえた後にすぐ返してもらい，被告人
ははおや べんとうだい しはら
の母親がお弁当代を支払ってくれました。

べんごにん 弁護人 3 べんごにん しつもん いじょう
弁護人の質問は以上です。

さいばんかん 裁判官 6 じんもん お しょうにん せき もど
尋問は終わりました。証人は席に戻ってくだ
さい。

さいばんかん 裁判官 7 ひこくにん しつもん おこな ひこくにん しょうげん
では，被告人質問を行います。被告人は，証言
だい ところ た
台の所に立ってください。

さいばんかん 裁判官 8 べんごにん しつもん
弁護人，質問をどうぞ。

べんごにん 弁護人 4 にど じけん お
もう二度とこのような事件を起こさないために，
こんご せいかつ
今後どのように生活しますか。

ひこくにん 被告人 めいわく はは しごと み
迷惑をかけてばかりの母のためにも，仕事を見つけ

いっしょうけんめいはたら
て一生懸命働きます。

べんごにん べんごにん しつもん いじょう
弁護人 4 弁護人の質問は以上です。

さいばんかん けんさつかん しつもん
裁判官 9 検察官，質問をどうぞ。

けんさつかん しつもん ひつよう
検察官 2 質問は必要ありません。

さいばんかん しつもん お ひこくにん せき もど
裁判官 10 質問を終わりますので，被告人は席に戻ってく
ださい。

さいばんかん いじょう しょう こしら しゅうりょう けんさつかん
裁判官 11 以上で，証拠調べは終了です。検察官，
ろんこくきゅうけい
論告求刑をどうぞ。

けんさつかん ひこくにん はんこう どうき むしよく かね も
検察官 3 被告人の犯行の動機は，無職でお金を持っていなか
ったという，みがって
身勝手なものです。

けんさつかん ひこくにん いぜん まんび かね
検察官 4 被告人は以前，万引きをしたことがあり，お金がな
ければまた 同 じ よ う な はんざい かのうせい
犯罪をする可能性も
じゅうぶん かんが
十分に考えられます。

けんさつかん 5 きゅうけい ひがい べんしょう てん かんが
検察官 5 求 刑 ですが， 被害が弁償されている点を考え
ても，ひこくにん ばっきん まんえん しょ そうとう
被告人を罰金30万円に処するのが相当と
かんが
考 えます。

さいばんかん 12 べんごにん べんろん
裁判官12 それでは弁護人， 弁 論をどうぞ。

べんごにん 5 ほんけんはんこう けいかくてき
弁護人 5 本件犯行は， 計 画的なものではありません。
ひこくにん ふか はんせい
被告人は深く反省しています。

べんごにん 5 ぬす べんとう ちゃ かえ ははおや ちゃ
弁護人 5 盗んだお弁当とお茶は返し， さらに， 母親がお茶と
べんとうだい しはら べんしょう
お弁当代を支払って， 弁 償しています。

べんごにん 1 ひこくにん さい わか しょうらい た
弁護人 1 被告人は， まだ23歳と若く， 将 来 もあり， 立
なお かのうせい
ち直る可能性があります。

べんごにん 2 いっしょ す ははおや ひこくにん わる
弁護人 2 また， 一緒に住んでいる母親が， 被告人が悪いこと
をしないようにちゅうい いう
注意すると言っているのです， また

はんざい おか かのうせい
犯 罪 を 犯 す 可 能 性 は あ り ま せ ん 。

べんごにん 3 いじょう てん かんが こんかい かぎ
弁 護 人 3 以 上 の 点 を 考 え て , 今 回 に 限 り , や さ し い

はんけつ ねが
判 決 を お 願 い し ま す 。

さいばんかん 13 ひこくにん しょうげんだい ところ で
裁 判 官 13 被 告 人 は , 証 言 台 の 所 へ 出 て く だ さ い 。

さいばんかん 14 さいばん お さいご い
裁 判 官 14 こ れ で 裁 判 を 終 わ り ま す が , 最 後 に 言 い た い こ と は
あ り ま す か 。

ひこくにん ほんとう はんせい まわ ひと おお
被 告 人 本 当 に 反 省 し て い ま す 。 周 り の 人 に も 大 き な

めいわく にど
迷 惑 を か け ま し た 。 も う 二 度 と こ の よ う な こ と は
し ま せ ん 。

さいばんかん 15 へいてい
裁 判 官 15 こ れ で 閉 廷 し ま す 。

メ→「はい、ありがとうございました。ここまでの裁判で、どんなことが起こったのかが分か
ってきました。この後、結果(判決)を言うことになりますが、その前に、検察官と弁護人
が言っていることをおさらいしてみましょう。(スライド6)検察官は、

・万引きした理由が、無職でお金を持っていなかったという自分勝手なもので、(左ク
リックで動く)

・被告人は以前にも万引きをしたことがある。(左クリックで動く)

- ・また、お金がなければまた万引きするかもしれないから。(左クリックで動く)
- ・反省させるために、罰金30万円が相応しい刑だ！と言っています。(左クリックで動く)」

「一方、弁護士は、

・つい万引きしてしまっただけで、計画を立てて万引きしたのではない。深く反省している。(左クリックで動く)

・お弁当代とお茶代は弁償した。(左クリックで動く)

・23歳とまだ若いので、立ち直ることができる。(左クリックで動く)

・母親が被告人が悪いことをしないように注意すると言っている(左クリックで動く)

・だから、優しい判決を希望しています。(左クリックで動く)」

「では、ここでちょっと意見を聞いてみたいと思います。」

(参加者が22人以下の場合)

メ→「皆さんに被告人は有罪か無罪かお聞きします。被告人が有罪だと思う人は手を挙げてください。」

「被告人が無罪だと思う人は手を挙げてください。」

「はい、ありがとうございます。ほとんどの人が有罪に手をあげましたね。」

(参加者が22人以上の場合)

メ→「では、裁判官●の人、被告人は仕事を見つけたらちゃんとした生活を送れると思いますか?」「裁判官●の人はどう思いますか?」

「裁判官●の人、被告人はもう2度と万引きはしないと思いますか?」

「裁判官●の人、被告人はざばり、有罪、無罪どちらだと思いますか?」

「裁判官●の人、罰金30万円は安いと思いますか高いと思いますか?」

「はい、ありがとうございます。」

※ 人数に合わせて質問をカットしたり加えたりする。

メ→「それでは、いよいよ結果(判決)です。(スライド7)被告人は有罪か無罪か、注目しましょう。席についているみなさんは机の上のファイルをもって③をめくってください。自分の台詞は、赤字になっているので、自分の順番になったら、立って、大きな声ではっきりと読み上げてください。」

サ→まもなく模擬裁が終わる旨を無線で連絡する。

【第3シナリオ】

さいばんかん 1 かいてい はんけつ い わた
裁判官 1 開廷します。判決を言い渡します。

さいばんかん 2 しゅぶん
裁判官 2 主文

ひこくにん ばっきん まんえん しょ
被告人を罰金30万円に処する。

さいばんかん 3 りゆう
裁判官 3 理由

ひこくにん
被告人が万引きをしたことは悪いことである。

裁判官 4 しかし、お茶代とお弁当代を弁償しており、反省も
している。

裁判官 5 これで閉廷します。

メ→「判決は検察官が言っていたとおり、罰金30万円を支払えという判決でしたわ。被告人には、罰として30万円を支払ってもらうことになります。(スライド8)

以上で模擬裁判を終わります。裁判官役、検察官役、弁護人役のみなさん、ありがとうございました。おつかれさまでした。[拍手]」(スライド9)

「くじは机の上に置いていってください。」

「机の上にある認定証書を一人一枚取って出口へ向かってください」

サ→模擬裁判が終わった旨を無線で連絡する。

平成30年度夏休み子ども見学会「大ホール企画（メイン担当）」進行表

進 行	内 容
<p>（自由見学開始）</p> <p>（大ホール企画案内）</p>	<p>皆さん、こんにちは。本日は、お暑い中、御参加いただきましてありがとうございます。</p> <p>こちらのコーナーでは、裁判所にまつわる〇×クイズ大会を</p> <p>10:25（14:25）</p> <p>10:45（14:45）</p> <p>11:05（15:05）</p> <p>の3回実施します。</p> <p>開始5分前になりましたら受付を開始しますので、参加される方はこちらにお集まりください。</p> <p>また、クイズ大会以外にも、大ホール内では、世界各国で裁判官が着る法服の展示や裁判所職員の職業説明の展示を行っております。</p> <p>係の方で展示物の説明を行いますので、お聞きになりたい方は、こちらの正面階段付近にお集まりください。</p> <p>クイズのヒントが隠されているかもしれないので、クイズに参加される前に展示物を見学されることをお勧めします。</p> <p>なお、講堂で行われる模擬裁判につきましては、参加できる時間帯が決まっていますので、ご注意ください。（以下、アナウンス）</p> <p>★7月30日AM</p> <p>10:20（第1回）当選はがき右上記載の番号が1001～1058</p> <p>10:40（第2回）当選はがき右上記載の番号が1059～1138</p> <p>11:00（第3回）当選はがき右上記載の番号が1139～1200</p>

★7月30日PM

14:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が2001~2066

14:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が2067~2112

15:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が2113~2200

★7月31日AM

10:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が3001~3066

10:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が3067~3103

11:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が3104~3200

★7月31日PM

14:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が4001~4049

14:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が4050~4111

15:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が4112~4200

★8月2日AM

10:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が5001~5051

10:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が5052~5112

11:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が5113~5200

★8月2日PM

14:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が6001~6033

14:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が6034~6069

15:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が6070~6200

★8月3日AM

10:20 (第1回) 当選はがき右上記載の番号が7001~7041

10:40 (第2回) 当選はがき右上記載の番号が7042~7079

11:00 (第3回) 当選はがき右上記載の番号が7080~7200

★8月3日PM

<p>(パワポ操作)</p>	<p>クイズに正解した方はその場に残ってください。</p> <p>残念ながら間違えてしまった方は、その時点でクイズは終わりになりますが、最高裁判所限定の記念スタンプのコーナーをあちらに設けておりますので、是非ご利用ください。</p> <p>また他にも大ホール内では様々なものが展示されておりますので、そちらも是非ご覧になってください。</p> <p>(クイズ1回目、2回目の場合は、「もう一度クイズに挑戦したい方は次の時間帯以降にもう一度お集まりください」)</p> <p>成績優秀者には賞品を用意しておりますので、楽しみにしててください。</p> <p>それでは、〇×クイズを始めます。</p> <p>第一問・・・</p> <p>(出題後、10秒程度待ってから)</p> <p>それでは、答えを発表します。(以下答えと解説)</p> <p>正解の方はその場に残ってください。残念ながら間違えてしまった方は、記念スタンプのコーナーがありますので、そちらにお進みください。</p> <p>(以下、最低5問は問題を繰り返す。6問目以降はその前の問題を終えた段階で人数が30名以下になった場合、その次の問題を最終問題とする。人数が全然減らない場合でも10問目が最終問題とする。</p> <p>なお、5問目以内に正解者が0人になることを避けるために、適宜ヒントを使用し正解に導く。仮に正解者が10名以下になってしまった場合は不正解者をそのまま残し、その次の問題を最終問題として再度クイズに挑戦させる。</p>
----------------	--

<p>(最終問題)</p>	<p>アナウンス例：「問題がちょっと難しかったようですので、今残っている皆さんにはもう1問クイズに挑戦してもらいたいと思います。このクイズに正解すれば賞品をもらえるので頑張ってください。」)</p> <p>次が最終問題となります。この問題に正解すれば賞品がもらえますので、気を抜かないで頑張ってください。</p> <p>(出題、答えと解説)</p> <p>○(問題によっては×)の方、おめでとうございます。</p> <p>×(もしくは○)の方は本当に残念でしたが、記念にスタンプを押していただけたらと思います。</p> <p>見事全問正解することができた方には、最高裁判所限定の記念シールを差し上げますので、私に向って一列に並んでください。</p> <p>裁判所採用広報キャラクターの「さいたん」と家庭裁判所広報キャラクターの「かーくん」がプリントされていますので、裁判所にもこんなに可愛いキャラクターがいるんだと知ってもらえたらと思います。</p> <p>記念スタンプをご利用になりたい方はあちらにお進みください。</p> <p>本日は御参加いただき誠にありがとうございました。</p> <p>(シール配布後、再び進行表の大ホール企画案内からクイズ実施まで繰り返す。)</p>
---------------	---

平成30年度夏休み子ども見学会「大ホール企画（補助担当）」進行表

進 行	内 容
10:15(14:15) 【自由見学開始】	(メイン担当のアナウンスにより一定程度人数が集まったら、正面 玄関を背にしてマイクを使わずに説明を行う) (特に人が集まらなかったら適宜参加者に対応することで可)
10:20(14:20) 【展示物説明】 ※2回目説明開始時間	皆さん、こんにちは。本日は、最高裁判所にお越しいただきあ りがとうございます。 私は最高裁判所秘書課の●●と申します。
10:40(14:40) ※3回目説明開始時間	こちらでは、大ホール内の展示物の説明を行います。
11:00(15:00) (法服説明)	私に向かって右側には、世界各国で裁判官が着る法服の展示がされ ております。 法服とは、裁判官や裁判所書記官などが法廷で着用する制服になり ます。 日本の法服が黒色なのは、黒色が他の色に染まることはないという ことで、裁判官の公正さを象徴する色として最適だと考えられたため と言われています。 本日はアメリカやフランスなど諸外国の法服も展示しております ので、日本のものとよく見比べてみてください。 また、ここで展示されている法服は過去に寄贈された、とても貴重

<p>(職業パネル説明)</p>	<p>なものになりますので、お手を触れないようご注意ください。(注意喚起のパネルも掲示されています。)</p> <p>なお、日本の法服の着用体験は大法廷で行っていますので、そちらもご利用いただけたらと思います。</p> <p>私に向かって左側には裁判所で働く人々の仕事を紹介しています。</p> <p>裁判所といえば裁判官ということで、裁判官のことを御存じの方は多いかと思いますが、裁判所では裁判官以外の人(裁判所事務官・裁判所書記官・家庭裁判所調査官)が働いていることについてはあまり馴染みがないところかと思っています。</p> <p>そこで、裁判所の人がどのような仕事をしているのかをパネルで説明していますので、裁判所をより深く知ってもらうとともに、将来、裁判所の職員として働いてみたいと思ってもらえたら幸いです。</p> <p>裁判所事務官と裁判所書記官のお仕事は裁判所採用広報キャラクターの「さいたん」が紹介します。</p> <p>家庭裁判所調査官のお仕事は家庭裁判所広報キャラクターの「かーくん」が紹介します。</p> <p>(低学年対象日は、次のとおり、ぬりえコーナーのアナウンスも行う：職業説明の展示物の横には「さいたん」と「かーくん」がプリントされたぬりえコーナーを設けましたので、そちらもご利用ください。裁判所にもこんなに可愛いキャラクターがいるんだと知ってもらえたらと思います。)</p> <p>(記念スタンプ説明)</p> <p>なお、私に向かって正面の大法廷前階段付近では、クイズ大会が行</p>
------------------	--

<p>(説明後)</p>	<p>われますが、その横に設置されている最高裁判所限定の記念スタンプのコーナーはクイズ大会に参加しなくてもご利用できます。</p> <p>それでは、ゆっくり展示物をご覧ください。</p> <p>適宜、質問も承りますので、遠慮なく声をかけてください。</p> <p>(法服については、パネル記載の説明内容及び自身の体験談の範囲で対応し、職業説明については、パネル記載の説明内容及び自身の体験談の範囲で対応するだけでなく、詳細情報を求める参加者には裁判所ウェブサイトの採用試験情報のコーナーを案内する。)</p> <p>(適宜、大ホール内を周回し声掛けや注意、休憩場所・トイレ・冷水機の案内等行い、必要に応じてクイズ大会のサポート等を行う。)</p>
--------------	---